

はじめに



我が国において急速に進行している少子化現象は、戦後社会が築き上げてきたさまざまな社会制度に变革を迫り、また地域コミュニティ崩壊の一因となっていると言っても過言ではありません。本市においても、少子高齢化は顕著であり、子どもたち自身や子どもたちを取り巻く社会環境に大きな影響を及ぼしているものと推測されます。

このような中、国、地方公共団体及び企業における10年間の集中的・計画的な少子化対策への取り組みを促進するための「次世代育成支援対策推進法」が制定されたことに伴い、本市においても子どもが生まれ成長する過程を支援する「白石市次世代育成支援行動計画」を策定いたしました。

この計画では、「安心して子育てできるまちづくり」「共に支えあう地域づくり」「夢や希望のもてる次代の親づくり」を基本的な視点として、「地域における子育て支援」「乳幼児及びその保護者の健康の確保・増進」「教育環境の整備」「生活環境の整備・安全の確保」を基本目標に、総合的に子育てを支援していくこととしております。

市といたしましては、この計画の中に盛り込まれた各種施策に沿って、出来るものから順次その推進を図ってまいり所存ではありますが、行政の力だけでは限界があり、また子育て支援ネットワークの構築・充実等が必要不可欠でありますので、市民の皆様のお一層のご理解、ご協力をお願い申し上げます。

最後に、この計画の策定にあたりまして意欲的かつ積極的に取り組んでいただきました「白石市次世代育成支援行動計画策定委員会委員」の皆様をはじめ、ご指導いただいた関係機関の皆様から心から感謝申し上げますとともに、今後の計画の推進にあたりまして、引き続きご支援、ご協力を賜りますようお願い申し上げます。

平成17年3月

白石市長 風間康静